

自動車製造向けで強み

(株)不二越

【本社】〒930-8511 富山市不二越本町1-1-1 Tel.076-423-5111

【URL】<http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>

中国での体制を強化

不二越は、工具、工作機械、ロボットシステム、ベアリング、油圧機器、自動車部品、特殊鋼、コーティング、工業炉などを扱う総合機械メーカー。ロボットについては、スポット溶接、アーク溶接、シーム溶接、ハンドリング・シーリング、パレタイジング、重量物搬送(可搬重量280～700kg)、ガラス基板搬送など幅広いラインアップを有する。用途としては自動車製造分野が多く、なかでもトヨタ自動車系列への納入が多いと推定される。

不二越がロボット分野に取り組み始めたのは1969年で、油圧式の製品を開発し産業用ロボット市場に参入。79年には超精密分野へ進出し世界初の電動型多関節溶接ロボットを開発した。その後、90年にハンドリングロボットを商品化。2010年にはパレタイズロボットを市場投入し、物流インフラ分野への展開も開始した。

生産は、本社・富山事業所のほか、13年2月より稼働している「那智不二越(江蘇)精密機械有限公司」(中国・張家港市)でも行っている。中国の工場でのロボット生産台数は年3000台程度と推定される。中国では10年に「那智不二越(上海)貿易有限公司」にロボットビジネスセンターを設置し、ローカルスタッフを中心に50名体制に増強。上海、天津、瀋陽、北京、長春、広州に販売・サービス拠点を設置し、販売網を拡充した。また、ビジネスパートナーとしてシステムインテグレーターの数を倍増(15年で100社程度と推定)した。

小型製品強化で新規分野を開拓

小型ロボットの製品も強化しており、食品・医薬品などの新しい分野を開拓も進めている。その施策の1つとして、14年12月に世界最速・軽量コンパクトロボット「MZ04」と、低出力ロボット「MZ04E」を市場投入した。小型ロボットのボリュームゾーンである3～4kg可搬をターゲットに、使い勝手を大幅に向上することでロボット導入の敷居を下げた製品だ。

ロボットアームの軽量化と最新の制御技術により、クラストップの動作速度を実現。サイクルタイムを短縮し、幅広い用途で生産性を改善した。手首部分は中空構造で、ケーブル類を収納することで、周辺装置との干渉リスクを大幅低減している。本体の設置面積はA5用紙サイズに抑え、狭小スペースへの設置が可能。本体の重さが26kgと軽

量であることから、天吊り、壁掛け、傾斜設置など、ロボットレイアウトの自由度を向上している。

作業者がロボットアームを直接動かしてティーチングするダイレクトティーチング機能を搭載。すべての軸で定格出力80W以下のモーターを使用した低出力タイプが「MZ04E」で、安全柵なしでの設置にも対応し、作業者との隣接作業を実現できる。

産業用ロボの生産能力を4倍に

16年度(16年11月期)の中間決算発表において、新たな経営方針として「ロボットを核にした総合機械メーカー」へと転換し、幅広い産業機械分野に多彩なロボットを提供していく考えを示した。特に「ロボット単体」だけでなく「ロボットを含めたシステム」の提供体制を強化していく方針で、そのために



ロボットを中核に据えていく